

# 予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く19人の議員で構成、委員長は菊池民彌議員、副委員長は安部重幸議員）は、条例8件、予算7件、その他2件について付託を受け、審議を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全17議案が原案のとおり可決されました。

## 財産の取得について

**問** 導入予定機械の詳細は。

**答** トラクターほか草地管理機械一式である。

**問** これらの機械はキヤトルセンターで使用するものか。

**答** 公共牧野での採草と、キヤトルセンターで使用し、自給粗飼料の生産を高めた。

**問** 導入機械により、市内採草牧野の草地管理を賄えるのか。

**答** 採草時期が限られ、短期間での作業となるため、今後機械導入の追加が必要になると思われる。

## 旧上郷中学校の郷土芸能伝承館整備をどう進めるのか

**問** この補正は、物品等の展示を中心としたものか。

**答** 2年ほど前から郷土芸能伝承館として活用したいというところで構想が決まっている。今般の補正は、郷土芸能の物品等展示に係る基本設計業務委託料である。



郷土芸能伝承館に生まれ変わる旧上郷中学校

**問** 展示物については遠野市内全域を網羅するという考えでよいのか。

**答** そのとおりである。可能な限り集約して展示等していきたい。

**問** その後の事業内容は。

**答** 既に当該地域では行われているが、校舎の一部を活用し、観光的・民俗的な意味合いを含めて、郷土芸

**問** 26年産米の概算払い金が、大幅に下落した支援策が必要では。

**答** 加算を打ち出す地域もあるが、当地域においては具体的な直接補填はない現状である。

**問** 何のためにアストロを立ち上げているのか、足腰の強いタフビジョンの基本は、農家を守ることにある。行政と農業団体が一体となり、支援することが必要と思われるが。

**答** 全国的に憂慮される状況にある。減収分について補填策は

能の伝承活動や踊りの披露なども取り入れていきたい。

**問** 今後の管理体制に地区センターを中心に関係者と協議し、しっかりとした管理体制づくりを構築していく。

**問** 26年産米の概算払い金が、大幅に下落した支援策が必要では。

**答** 加算を打ち出す地域もあるが、当地域においては具体的な直接補填はない現状である。

**問** 何のためにアストロを立ち上げているのか、足腰の強いタフビジョンの基本は、農家を守ることにある。行政と農業団体が一体となり、支援することが必要と思われるが。

**答** 全国的に憂慮される状況にある。減収分について補填策は

**問** 今後の管理体制に地区センターを中心に関係者と協議し、しっかりとした管理体制づくりを構築していく。

**問** 26年産米の概算払い金が、大幅に下落した支援策が必要では。

**答** 加算を打ち出す地域もあるが、当地域においては具体的な直接補填はない現状である。

**問** 何のためにアストロを立ち上げているのか、足腰の強いタフビジョンの基本は、農家を守ることにある。行政と農業団体が一体となり、支援することが必要と思われるが。

**答** 全国的に憂慮される状況にある。減収分について補填策は

**問** 今後の管理体制に地区センターを中心に関係者と協議し、しっかりとした管理体制づくりを構築していく。

**答** 加算を打ち出す地域もあるが、当地域においては具体的な直接補填はない現状である。

**問** 何のためにアストロを立ち上げているのか、足腰の強いタフビジョンの基本は、農家を守ることにある。行政と農業団体が一体となり、支援することが必要と思われるが。

**答** 全国的に憂慮される状況にある。減収分について補填策は

**問** 今後の管理体制に地区センターを中心に関係者と協議し、しっかりとした管理体制づくりを構築していく。

**答** 加算を打ち出す地域もあるが、当地域においては具体的な直接補填はない現状である。

**問** 何のためにアストロを立ち上げているのか、足腰の強いタフビジョンの基本は、農家を守ることにある。行政と農業団体が一体となり、支援することが必要と思われるが。

**答** 全国的に憂慮される状況にある。減収分について補填策は

影響は少なからずあると考えられるが、お互い独自色を出すことにより相乗効果が期待できる。

## 原木シイタケ栽培への今後の支援策は

**問** 3年間の市単補助成が26年度最終年度となるが、一歩進んだ次期対策を講ずることができないか。

**答** 緊急対策事業として原木と種駒の助成をしてきたが、国庫事業と市単事業との条件を確認しながら対応していく。

**問** 市では27年度予算取りまとめの段階で、国の高率補助についてどの程度農家に説明してきたのか。

**答** 国の事業説明はまだ行っていない。

**問** 農家の要望に対する国の採択時期を失しないように一日も早く農家全体の意識を把握し、次の事業につなげていくべきではないか。

**答** 生産者の意向確認を早々に行っている。

松くい虫被害の実状と対策は

**問** 松くい虫の被害が深刻だが、対策予算はどうなっているか。

**答** 今回の補正には上げていない。県の対策状況と現地を確認しながら対応する。

**問** 先進地に見習い、民間ボランティアを募る等、市民協働で対策を打つことが必要では。

**答** 参考になる事例は、取り入れて対応したい。

**問** 被害根絶に向けた具体的な計画はあるか。

**答** 県では被害地域の監視隊等を設定して防除している状況であり、現在、各市として具体的な計画はない。

**問** 今後の対策に向けた決意は。

**答** 有害鳥獣対策は駆除、防除、人材育成の3本柱で強力に押し進めているが、この問題も類似しており、

先進地も参考にしながら効果的な対策を講じていきたい。

道の駅へ電気自動車用の急速充電器の設置を

**問** 市内には道の駅が2ヶ所あるが、そこに電気自動車用の急速充電器は設置されているか。

**答** 風の丘に普通充電器が設置されている。

**問** 総務常任委員会「環境にやさしい観光地づくり」のテーマで先進地研修をしてきた。そこは低炭素社会の推進及び道の駅の利便性と利用客や観光客の増加などを目的として、市役所はもとより市内に7つある道の駅すべてに、急速充電器を設置している。

**答** 本市でも電気自動車等の普及に合わせ、早急に同様の取り組みが必要ではないか。

**問** 二酸化炭素の排出を増大させ、地球温暖

能の伝承活動や踊りの披露なども取り入れていきたい。

**問** 今後の管理体制に地区センターを中心に関係者と協議し、しっかりとした管理体制づくりを構築していく。

**答** 加算を打ち出す地域もあるが、当地域においては具体的な直接補填はない現状である。

あるものの、今後の推移を見据え対策を講じたい。

**問** 特に、いわてっこの栽培を拡大奨励してきたが、落ち幅があまりにも大きい。生産者への対応は。

**答** 奨励により栽培面積も29ha増の194haとなったが、37.5%の落ち幅となり、何らかの対策をJAと協議したい。

**問** 今後米価の下落に伴い、飼料米を作付けすることに個々の圃場において品種の混合が懸念されるが、どのように対応するのか。

**答** 価格の回復が見込めない中、作付けの多様化が進行すると思われるため、栽培指導を強化したい。

**問** 風の丘に大船渡の水産会社が参入したことに影響はないか。

**答** 水産会社が参入したが、市内の同業者に対し事前に情報提供や相談、意向確認を行った。また、売り上げ面などに影響はない。

**問** 商工会を通して事前相談や意向確認をしながら出店する業者を検討してきた。売り上げ面で同業者への



道の駅風の丘に出店した鮮魚店



国選定重要文化的景観に指定されている「荒川高原」